
環境保健学演習（令和7年度は開講しません）

Seminar: Environmental Health

1 年次後期・選択

2 単位・60 時間

【概要・目標】

環境保健学特論での学識を基盤として、集団を対象に健康状態を多角的に探求していくとともに、その結果に基づいて生活と健康を支持する実践能力を養う。具体的には、労働を含めた生活習慣に焦点を当て、健康を障害する要因について専門的な分析が行え、解決策としてその要因を取り入れる、あるいは、取り除く際に専門職として必要な理論や方法を習熟する。また、学生自らが研究課題を見出す過程に重点が置かれ、この演習が修士論文作成に繋がるようになっている。

【授業内容・スケジュール】

この演習は、受講生と協議しながら、具体的な授業計画を組み、テーマの設定が進行するようにする。基本的な流れは以下の通りである。

- 1) 環境保健学特論で学んだ内容に関連させて、実施可能な研究テーマを設定する。
- 2) それに関連する論文に対して、環境保健学特論で学んだ内容を活かして、研究方法、解析方法などの視点から検証を加え、研究課題を検索する。
- 3) 自ら研究を行えるように研究計画書を作成する。

【評価】

評価方法は、受講態度（30%）、レポート（70%）で、総合的に判断する。

【テキスト】

必要に応じて提示する。

【推薦参考図書】

必要に応じて提示する。

【その他】

連絡先：